

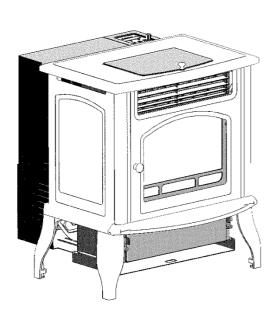
## ペレスター

# PelleStar HPS-110S HPS-200S 取扱説明書

この度は、ペレスターをお買い上げいただき、 誠にありがとうございます。

で使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお 読みいただき、正しく使用してください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。



## もくじ

1.	ペレスターについて1
2.	
3.	ペレット2
4.	各部の名称 3~5
5.	仕様6
6.	安全上の注意 ・・・・・・ 7~8
7.	使用方法 · · · · · 9~20
	使用前の準備 ・・・・・・・・・・・ 9
	点火前の確認 ・・・・・・・・・・ 10
	点火11
	消火11
	空気量の調整12
	火力の調整13
	風量の調整 ・・・・・・13
	ペレットの補充13
	点火タイマー14
	消火タイマー14
	使用後のお手入れ 15
	灰の処理16
	オフシーズンのお手入ね・・・ 17〜18
	本体温度の確認19
	メンテナンスモード19
	パラメータ設定 ・・・・・・ 20
8.	故障かな?と思ったら 21~22
	エラー 21
	トラブルシューティング・・・・・・ 22
9.	アフターサービス 23
	販売店による有料メンテナンス・・24
	メンテナンス記録 25~26
	保証書 · · · · · · · · · · · · · · 裏表紙

## 1. ペレスターについて

ペレスターは木質ペレット(以下ペレット)を燃料とする暖房機器です。

ペレットの燃焼に必要な空気は室内または屋外から給気します。燃焼後の空気は煙突を通じて屋外に排気します。

ペレスターの外装は鋳物です。鋳物から出る遠赤外線の輻射熱と、室内の空気を温めた温風により、お部屋を暖めます。

ガラス窓からはペレットが燃える炎を正面のガラスから楽しむことができます。

点火やペレットの供給は自動で行います。火力や温風の調整が可能です。点火タイマー、 消火タイマーを設定することもできます。

## 2. 設置

ペレスターの設置は別紙の弊社設置基準を守ってください。

## 3. ペレット

#### ペレスターはペレット専用

ペレスターはペレットストーブです。薪やチップ、ガソリン、灯油などペレット以外のものは使用できません。

#### ペレットの品質規格

ペレットには原料や形状、品質を定めた規格があります。また、規格どおりにペレットが 製造されていることを第三者が確認する認証制度があります。



ペレットの品質規格 ISO ENplus

#### 推奨ペレット

ペレスターの推奨するペレットは、ISO ENplusのA1です。

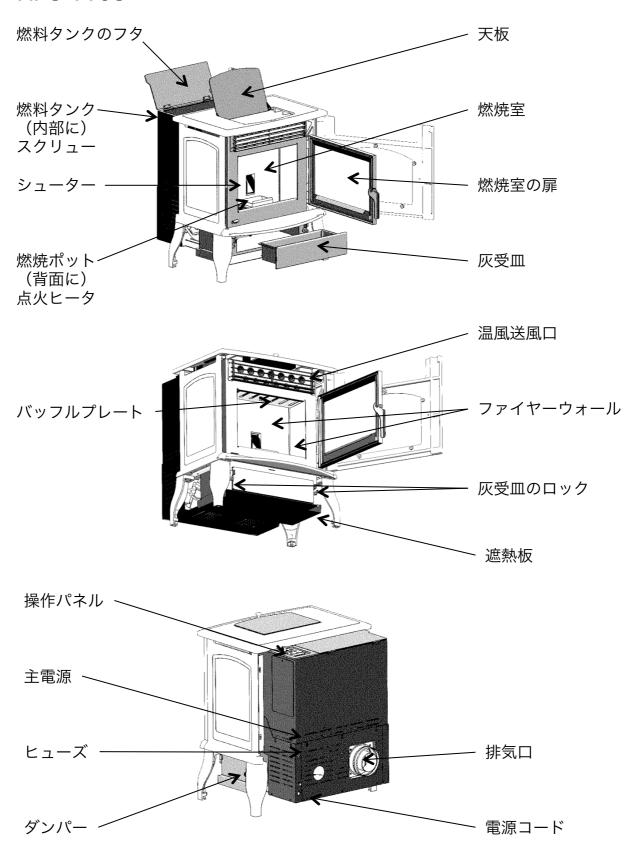
#### 規格外ペレットを使用する場合

ENplus A1以外のペレットを使用する場合、暖かさや灰の量などが想定とは異なる可能性があります。

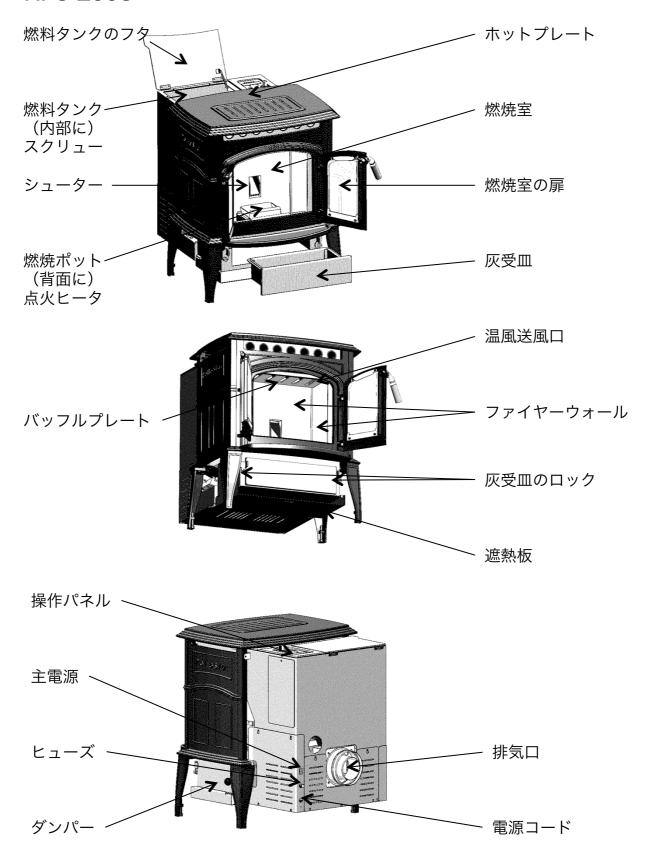
ペレスターの設定変更が必要になったり、使用できない場合がありますので販売店によく確認してください。

## 4. 各部の名称

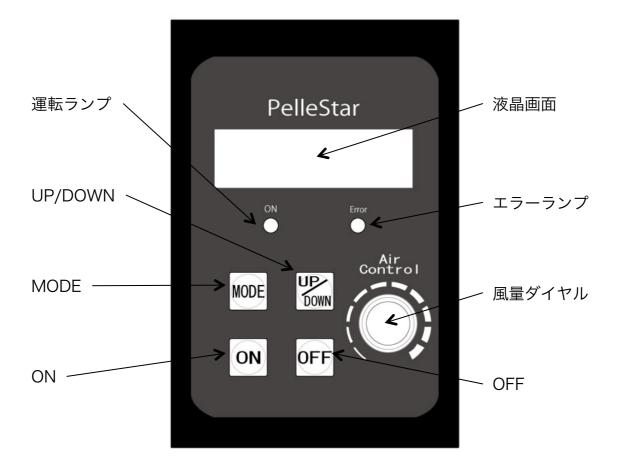
## HPS-110S



## **HPS-200S**



## 操作パネル



## 5. 仕様

- ※ 数値は自社測定です。出力は80%で計算しています。 ※ ペレットはENplus A1認証品(4.8kW/kg)を使用。

名						称 HPS-110S HPS-200S			HPS-200S															
区	区 分						分	半密閉式ペレットストーブ																
				燃	焼	方	式	直接送風	風燃焼式															
種			類	排	気	方	式	強制排気型																
				用	途	別方	式	強制文	対流型															
点		火			方		式	電気点火 温風点火式																
使		用			燃		料	木質ペレット( ISO ENp	lus A1を推奨)															
燃	料	タ	>		ク	容	量	14 kg	9 kg															
暖	房	出	力	最			大	6.9	kWh															
坂	厉	Щ	ZJ	最			小	1.9	kWh															
燃	和 流	弗	<b>#</b> =	最			大	1.8	kg/h															
X/\(\)	料消	其	負 費 量		最			小	小 0.5 kg/h															
熱効			率	80 % 以上																				
				高			さ	700 mm	644 mm															
外	形	寸法	寸法	寸 法	法			幅		630 mm	535 mm													
							奥		行	き	532 mm	568 mm												
重	重量		量	120 kg	115 kg																			
電	電 源 電 圧			圧	AC 100 V (最	贵大電流 4.1A )																		
定	格消費	烙消費電	消費電力	各消費電力		各消費電力		各消費電力		各消費電力		各消費電力	各消費電力	各消費電力	各消費電	消費電	費電力	電力		点 火 時		時	362 W (点火ヒータ 300 W 排気ファン 42W、 オーガモータ20W)	
	_									燃	燃 焼 時 1		10:	5W										
安		全		装			置	点火安全装置、耐震 過熱防止装置、																
付	付 属			品	ヘラ棒、抗	<b>幕除用ハケ</b>																		

## 6. 安全上の注意

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。



してはいけない内容です。



必ず実行していただく内容です。



### 警告

火災など重大な事故に至る場合があります。

- - 火災や故障の原因になります。
- **◇ペレットに直接火を点けない** 火災や火傷の原因になります。
- トーブに近づけないでください。 火災の原因になります。 **~**
- ◇ 温風吹出口をふさがない 火災の原因になります。
- ◇ 分解・改造しない 火災、一酸化炭素中毒、火傷の原因に なります。
- 排気口が雪やススでふさがれて いないか確認する
  - 一酸化炭素中毒の原因になります。

- **異常時は使用しない**ストーブの異常を感じたら、すぐに使用をやめて販売店に連絡してください。
  火災や故障の原因になります。

火災や一酸化炭素中毒の原因になりま す。



## ケガやストーブの故障の原因になります。

- **◇ ガラスなど高温部にさわらない** 火傷の恐れがあります。
- 直接温風にあたらない 長時間温風にあたり続けると、低温火 傷や脱水症状の原因になります。
- 停電時は窓を開けて換気する ストーブから煙が漏れることがあります。窓を開けて換気してください。 一酸化炭素中毒の原因になります。
- **お手入れは本体が冷えてから** 火傷の原因になります。

> 巻き込まれて大怪我をする恐れがあり ます。

怪我をしたり、故障の原因になります。

● 電源コードを傷めない

電源コードを傷つけたり、束ねたり、 ものを乗せたり加工しないでください。 火災や故障の原因になります。

## 7. 使用方法

## 使用前の準備

① **燃料タンクにペレットを入れる** ペレットをこぼさないように気をつけてください。



#### ②「UP/DOWN」を押しながら、 背面の主電源を入れる

液晶画面に「メンテナンスモード」と 表示されます。



### ③「MODE」を押して「オーガ モータ」を選び、「ON」を押す

約5分でシューターからペレットが供給されます。

安定して落ちてくるまで待ってください。



## ④「OFF」を押す

ペレットの供給が止まります。 液晶画面に「PelleStar Hojitsu」と表示されます。

これで燃料タンクのスクリュー内にペレットが充填されました。

## 点火前の確認

#### ① ペレスター周囲の確認

ペレスターの周囲に可燃物や缶スプレー がないことを確認してください。

#### ② 燃焼ポットの確認

扉を開いて、燃焼ポットを取り出し、中 に何もないことを確認してください。

確認したら燃焼ポットを取り付け、燃焼 室の扉をしっかり閉めてください。



#### ③ 燃料タンクの確認

燃料タンクの中にペレットがあるか確認 してください。

ペレットを補充する時は、ペレットがタンク外にぼれないように気をつけてくだ さい。

補充後は燃料タンクのフタがしっかりと 閉まっていることを確認してください。



#### ④ 灰受皿の確認

灰受皿の両側にロックがされていること を確認してください。



## 点火

## ① ダンパーを開く

点火時はダンパーを全開にしてください。 ただし、寒冷地、寒い日の朝、煙突の設 置方法、燃料の品質などにより、ダンパー を少し閉めた方がよい場合があります。



#### ②「ON」を押す

燃焼ポットにペレットが供給され、点火 ヒータが点灯し、3分前後で着火します。 着火前後は煙突から白い煙が出ます。



## 消火

#### ①「OFF」を押す

液晶画面には「See You Again」と表示されます。しだいに炎は消えます。 消火後、40分後に完全に停止します。 消火中は完全に停止するまで操作しないでください。



## ②ペレスターが冷えたら、「使用後のお手入れ」を行う

ペレスターが完全に冷めたら13ページの「使用後のお手入れ」を行ってください。

## 空気量の調整

燃焼に必要な空気の量は、設置地域の気候やペレットの品質などにより変わります。運転中は定期的に炎の状態を確認して、正常な燃焼にしてください。正常な炎にすると、効率よくペレットを燃やすことができます。ガラスが曇らなくなったり、掃除の頻度を少なくすることができます。

	空気が少ない	正常	空気が多い
炎の状態			
状態	炎が揺らいで勢いがない。 炎の上から黒いススが出て いる。 ペレットに対し、空気量が 足りていません。	炎は明るい黄色かオレンジ。 ペレットと空気のバランス が取れています。	炎の勢いが強すぎ。 燃焼ポットの中で燃えてい るペレットが飛んでいる。 ペレットに対し空気量が多 すぎです。
対処	ダンパーを開いてください。		ダンパーを閉じてください。

### 火力の調整

## 「UP/DOWN」を押して火力を調整する

火力(ペレットが落ちる量)は最小1から最大5まで調整できます。

点火時の火力は3です。お好みの火力に 変更してください。



#### 「風量ダイヤル」を回して風量を 調整する

本体が暖まったら温風が送風されます。 お好みの風量に変更してください。

本体の温度が上がると、風量ダイヤルに 関係なく最大で送風します。





## ペレットの補充

#### 燃料タンクの残量を確認する

運転中は定期的に燃料タンク内のペレットの量を確認してください。

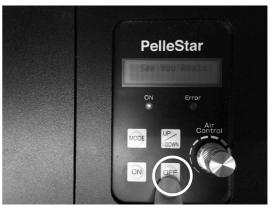
#### ペレットを補充する

ペレットがなくなる前に補充してください。運転中でもペレットの補充はできます。ペレットの補充が終わったら、燃料タンクのフタを確実に閉めてください。

#### ペレットが切れたら

運転中にペレットが切れたら、「OFF」を押して完全に停止するのを待ち、完全に停止したら10ページの「点火前の準備」を行ってください。





### 点火タイマー

点火タイマーは停止中に設定できます。

#### ① 「点火前の確認」を行う

点火タイマーを設定する前には、12ページの「点火前の確認」を行ってください。

#### ② 停止中に「UP/DOWN」を押す

液晶画面に「オメザメタイマー」と表示されます。

#### ③「UP/DOWN」を押して、点火 するまでの時間を設定する

例えば、今11時で、朝6時(7時間後)に点 火させるときは、停止中に「UP/DOWN」を7 回押して、表示を「7」にします。 朝6時になったら点火します。



## 消火タイマー

消火タイマーは運転中に設定できます。

- ①「MODE」を押して液晶画面を 「オヤスミタイマー」にする
- ②「UP/DOWN」を押して、消火まで の時間を設定する

設定した時間が過ぎると、燃料供給を止め、消火します。

例えば、3時間後に消火させたい場合は、運転中に「MODE」を押して液晶画面を「オヤスミタイマー」にし、「UP/DOWN」を3回押します。



## 使用後のお手入れ

消火後、ペレスターが停止し、完全に冷めたら使用後のお手入れを行ってください。 ストーブが冷めていないと、やけどやガラスが破損する原因になります。

#### ① 燃焼ポット

燃焼ポットに残った灰や燃え残ったペレットは、付属のハケや、ペレットストーブ専用の掃除機で確実に除去してください。 燃焼ポットに灰や、灰が固まったもの(クリンカー)が付着したまま点火すると、点火に時間がかかったり、着火時に大量の煙が出ます。



#### ② 点火ヒータ

点火ヒータのパイプ内にたまった灰を付属のハケ、または専用の掃除機で除去してください。



#### ③ 窓ガラス

ガラスは固く絞った雑巾、新聞紙などで 拭き取ってください。

窓ガラスが汚れていたり雲っていると、次 の使用するときに燃焼状態が確認できま せん。



## 定期的なお手入(週1度)

#### ① バッフルプレートの掃除

燃焼室上部のバッフルプレートを外し、付着 している灰を掃除します。



### 灰の処理

#### ① 灰受皿を引き出す

灰受皿の左右のロックを外し、灰受皿を引き 出します。

## ② 灰を捨てる/ペレットストーブ専用掃除機で吸い取る

灰は各自治体の条例に従って適切に処理して ください。



## ③ 灰受皿を元に戻し、左右のロックをかける

灰受皿のロックを確実にかけてください。



### オフシーズンのお手入れ

#### ① 燃料タンクを空にする

ペレットは湿気を含むと粉になります。 粉は燃料詰まりの原因となるため、シーズ ンが終わったらペレットを燃やしきって燃 料タンクを空にしてください。

※直接燃料タンクからペレットを取り除く ときは、燃料タンク内のスクリューが動か ないように、必ずコンセントから電源プラ グを抜いてください。

#### ② 床に新聞紙を敷く

お手入れで床が汚れないように、床に新 聞紙を敷いてください。

#### ③ 手袋をする

手が汚れないように、ゴム手袋をしてく ださい。

#### ④ 排気ファンを動かす

メンテナンス時には細かい灰が室内に 舞い上がってしまいます。

「ON」を押して起動させた後、すぐに 「OFF」を押すと、排気ファンが運転する ため、燃焼室のススを吸い出します。



#### ⑤ バッフルプレートを取り外す

燃焼室の上部にあるバッフルプレートを 取り外します。





#### ⑤ ファイヤーウォールを取り外す

燃焼室の背面と側面のファイヤーウォールを 外します。

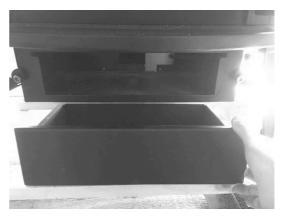
背面のファイヤーウォールは、上に引き上げると外れます。

ファイヤーウォールは消耗品です。割れたり キズがつかないように気をつけて外してくだ さい。



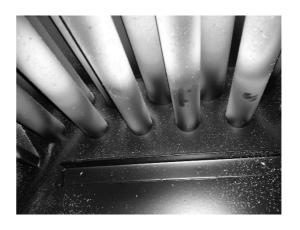
#### ⑥灰受皿を取り外す

灰受皿を外します。



#### ⑦熱交換パイプ、燃焼室、灰受皿の奥 を掃除する

燃焼室上部のパイプ、燃焼室の背面と側面に付着した灰をハケや掃除機で掃除します。



#### ⑧電源プラグとコンセントを掃除する

コンセントから電源プラグを抜き、付着した ほこりを掃除してください。

### メンテナンスモード

点検時に各部品の動作を確認できます。

①「UP/DOWN」を押しながら、 主電源を入れる

液晶画面に「メンテナンスモード」と表示されます。

- ②「MODE」を押して動作させる 部品を選び「ON」を押す 選択された部品が動作します。
- ③「MODE」を押すと停止します
- ④メンテナンスモードを終了する ときは「OFF」を押す



動作を確認っ	でき	る部品
--------	----	-----

排気ファン

ルームファン(送風ファン)

オーガモータ

ヒーター (点火ヒータ)

## 本体温度の確認

① 運転中に「MODE」を2回押す 液晶画面に現在の火力と本体の温度が表示されます。



## パラメータ設定

設置地域やペレットの品質などペレスターの初期設定と合わない場合は、下の表の項目を変更することができます。変更する場合は、販売店に相談してください。

#### ①「MODE」を押しながら背面の主電源を入れる

液晶画面の上段に「1」、下段に11+min」と表示されます。

#### ②「MODE」を押して設定したい項目を選ぶ

	項目	選択値	初期値
1	点火時、点火ヒーターが発熱する時間	0、7 ∼ 13 min	9 min
2	点火後、火が点かず「低温エラー」となるま での時間	15、20 min	15 min
3	着火後、点火ヒーターが切れる本体温度	80 ~ 90 °C、190 °C	90 °C
4	消火後、排気ファンが止まるまでの時間	30 ∼ 50 min	40 min
5	消火後、送風ファンが止まる本体温度	40 ∼ 60 °C	50 ℃
6	着火後、送風が始まる本体温度	30 ∼ 60 °C	40 °C
7	ペレット供給量の切替	1、2	1
8	点火時、ペレットの連続供給時間(分)	$2\sim5$ min	2.5 min
9	運転中、「低温エラー」になる本体温度	5、30°C、40°C	40 ℃
10	点火時の連続供給後、通常供給までの時間	0 ~ 9 min	3 min
reset	リセット	No、Yes	No
end	設定の保存	On+Hold	

#### ③「UP/DOWN」を押して数値を選ぶ

#### ④ 設定を保存する

液晶画面を「end」にして、「ON」を長押しする。

初期値に戻す場合は、液晶画面を「reset」にして、「Yes」を選択した後、「MODE」ボタンを押して液晶画面を「end」にし、「ON」を長押しします。

## 8. 故障かな?と思ったら

## エラー

ペレスターには安全装置があります。安全装置が作動するとエラー音が鳴り、操作パネルの「エラーランプ」が赤く点灯してお知らせし、自動で消火します。

エラーが再発する場合は、ペレスターを止めて、販売店に連絡してください。

エラーの種類	原因	対処方法
1.排気温度高温	排気温度が高くなりました。	ストーブが停止したら点検し、 異常がなければ再点火してくだ さい。
2.タンク温度高温	燃料タンクの温度が高くなり ました。	ストーブが停止したら、燃料タ ンク内を確認し、異常がなけれ ば再点火してください。
3.負圧センサーエラー	正常に排気できていません。 以下の原因が考えられます。  ・負圧センサーのチューブ 内にススが付着している ・煙突内に灰がたまっている ・煙突内に鳥が侵入した ・排気ファンが故障した	販売店に連絡してください。
4.排気ファン異常	正常に排気できていません。 ・煙突への強風が吹きつけ ・高気密住宅でキッチンの レンジフードが作動	30秒以内に解消した場合、通常 運転に戻ります。 30秒経っても解消しない場合は、 「負圧センサーエラー」になり ます。
5.低温エラー	点火後に発生した場合は、一 定時間内に温度が上がりませ んでした。 運転中に発生した場合は、燃 料切れです。	燃焼ポットの燃料や灰を取り除いてから再点火してください。 燃料切れの場合は、7ページの「使用前の準備」を行ってから再起動してください。
6.感震エラー	地震などの揺れを感知しまし た。	大きな地震の後は、煙突の接続 を確認してから再起動してくだ さい。

## トラブルシューティング

不具合や異常が発生したら、以下の項目を確認してください。対策をしても解決しない場合は、使用を中止して販売店に連絡してください。

現象	原因	対処方法	
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜 けている	電源プラグをコンセントに確 実に差し込んでください。	
	主電源が切れている	主電源を入れてください。	
ペレットが出てこない	燃料タンクのペレットが切れた	9ページの「使用前の準備」 を行ってから再起動してくだ さい。	
	燃料タンク内のスクリューに、 粉や異物が詰まっている	販売店に連絡してください。	
火が点かない	ダンパーが閉じている	ダンパーを開いてください。	
	燃焼ポットの底に灰がたまって いる	燃焼ポットの底を掃除してか ら再起動してください。	
	燃焼ポットが正しく取り付けら れていない	燃焼ポットの位置を確認して ください。	
	点火ヒータが消耗した	販売店に連絡して点火ヒータ を交換してください。	
点火中に大量の煙が出た	燃焼ポットにペレットが残って いた	10ページの「点火前の確認」を行ってから再起動して	
	灰受皿が閉まっていなかった	ください。	
運転中に火が消えた	ダンパーが開すぎている	再起動し、着火したらダン パーを少し閉めてください。	
	燃料タンクのペレットが切れた	9ページの「使用前の準備」 を行ってから再起動してくだ さい。	

## 9. アフターサービス

### 保証について

保証書は「お買い上げ日」と「販売店名」が記入されていることを確認いただき、内容をよくお読みいただいた上で、大切に保管してください。

ペレスターの保証期間はお買い求め日より1年間です。

### 修理の依頼

21ページの「故障かなと思ったら」を確認し、対処方法を行ってください。それでも治らないときは、ご使用を中止し、お買い求めいただいた販売店にご連絡ください。 ご連絡いただきたい内容は次の通りです。

①ペレスターの名称 ②製造番号 ②お買い上げ日 ③故障の状況(できるだけ具体的に)

保証期間内の場合は、保証書をご提示ください。保証書の規定に従い、販売店が修理いた します。

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合、有料で修理させていただきます。

修理料金は「技術料」「部品代」「出張料」で構成されています。

## 補修用性能部品

補修用性能部品は、ペレットストーブの機能を維持するために必要な部品です。ペレスターの補修用性能部品は、製造打ち切り後、7年間保有しています。

## 転居する場合

設置・移設は弊社販売店に依頼してください。 設置基準書に従って設置してください。

## 廃棄するとき

設置・移設は弊社販売店に依頼してください。

## 販売店による有料メンテナンス

ペレットストーブは本体や煙突の掃除が必要です。ペレスターの使用にともない、煙突内 や排気口にはススがたまります。必ず販売店によるメンテナンス(有料)を受けてください。

## メンテナンス記録

## メンテナンス記録

#### 無料修理規定

- 1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店、または当社指定店が無料で修理いたします。
- 2. 取扱説明書に記入してある販売店に修理を依頼できない場合は、当社までお問い合わせください。
- 3. 保証期間内でも、次の場合は有料になります。
  - (a) 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意に従わない誤った使用、及び不当な修理や改造による故障や損傷。
  - (b) お買い上げ後の、当社販売店以外による設置場所の移動、落下による故障や損傷。
  - (c)火災、自身、水害、落雷、天災事変、異常電圧、環境要因による故障や損傷。
  - (d) 推奨外の燃料の使用による故障や損傷。
  - (e) 保証書の提示がない場合。
  - (f) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合。
  - (g) 部品の消耗による故障や損傷、部品交換及びメンテナンスの費用。
- 4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 5. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

				保訓	正書
	保証期間 1年間	]			●この保証書 より無料修理
	※お買い上げ日	年	月	日	です。お買い障が発生した
	※お客様				買い求めの販
	ご住所				※販売店名・
	お名前				<b>%</b> НО
					製造・販売元 〒501-3303
	お電話				岐阜県加茂郡 TEL 0574-5
∥ '					122 037 + 3

●この保証書は、本書記載内容(上記)により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から左記期間内に故障が発生した場合は、本書を提示の上、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

※販売店名・住所・電話番号

10	•
	нојітѕи
Y2 '	$\mathbf{HO}$
•	•

製造・販売元 豊実精工株式会社 〒501-3303 岐阜県加茂郡富加町羽生2146-2 TEL 0574-55-0180 FAX 0574-55-1085